

## 北限のタケノコ

名取市の愛島（めでしま）地区は県内有数のタケノコの産地。孟宗竹の竹林で良質で豊富にタケノコを収穫できるのは、この地区が北限と言われている。



旬を迎えて忙しい生産農家の板橋俊一さん（71）は、年間に10kg入りの籠を300個ほど出荷している。タケノコは竹の絡まった根の中から芽を出しているので、周りの根を切断しながら、傷をつけずに掘り出さなければならない。

そのためには、特別な農具が欠かせないが、シャベルに似た先端に鋭利な刃をもつ農具で「づつくす」と呼ばれる。これまで地元の鍛冶屋に製作とメンテナンスをお願いしていたが、ほとんどの鍛冶屋が廃業したため、大事に使用し手入れを欠かさない。

最近、この地区でも猪がよく出没するようになり、タケノコの被害も多くなっている。獣害対策として電線を巡らした柵を設置する農家もあるが、板橋さんは猪が通る「けものみち」に彼らの嫌がる「ニンニク」を撒いて対応している。

今年のタケノコは質、量ともに例年並みという。板橋さんは、収穫後は御礼肥を入れて、次の収穫を祈り、竹に手を合わせてから土を埋め戻すことを欠かさない。